

サンバーデン通信

SUN BADEN

第69号
令和5年1月発行

「サンバーデン」は、温暖で風光明媚な美浜町にある天然温泉「成光の湯」を利用した温泉施設であることから、太陽の意味の「サン」とヨーロッパ有数のドイツの温泉地「バーデン＝バーデン」から施設名に名付けられました。



- ◆新年のご挨拶
- ◆新型コロナウイルス感染症
- ◆行事報告（渡辺病院創立60周年）
- ◆研修報告
- ◆おしらせ
- ◆職員採用情報

※感染対策の下、一部の写真において撮影時のみマスクを外しております



加藤 伴親
副施設長

明けましておめでとうございます。旧年中は当施設の運営に格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

私は昨年7月に副施設長に赴任しました。まだまだ慣れないことが多く、利用者さま並びにご家族には何かとご迷惑をおかけしたのではと申し訳なく思っております。職員の協力もいただいでご満足頂けるサービス提供に努める所存です。よろしくお願ひいたします。

昨年末にコロナ退散を祈念すべく、南知多町師崎にある神護寺へ参拝して魔除けの御札をいただきました。「蘇民将来子孫」と書いたしめ縄を飾り、家の中に邪霊が入るのを防ぐ風習は、南勢・志摩地域の風習のようです。百年前にはまだウイルスの正体がわからず、祈ることしかできなかった感染症も、現在ではワクチンも開発され、マスクなどの予防対策も可能となっています。祈るだけでなく、科学的対応にもしっかり行い、利用者さま並びにご家族に満足して頂けるサービスを提供してまいります。

皆さま方にとっても素晴らしい一年になりますことを祈念申し上げます。



<加藤医師の御札>

新型コロナウイルス感染症

愛知県医療ひっ迫防止緊急アピール

12月に入り、県内でも感染者数が1万人を超える日が目立ち、第8波の感染拡大防止に気を緩めることができない状況が続いています。

新型コロナウイルスも4年目を迎えます。感染対策の一つに、エアロゾル感染対策や飛沫感染対策などの「効果的な換気」が重要とされています。一日でも早く流行が収まり、対面面会や通常業務に戻すことができるよう努力してまいります。引き続き、皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

愛知県新型コロナウイルス感染症
第8波の感染拡大の抑制に向け

愛知県医療ひっ迫
防止緊急アピール

愛知県全域 12月8日～1月15日



行事報告

10月 かぼちゃプリン

11月 薩摩芋と抹茶のパフェ

12月 クリスマスケーキ

お
や
つ
レ
ク



感染対策を徹底しながら、季節感を味わいました。



クリスマス会



この日は雪もちらつく寒い日でしたが、賑やかな笑い声に包まれ、温かい雰囲気の中で過ごすことができました。

各フロアでクリスマス会を開催し、ゲームあり、歌あり、プレゼントありの充実した楽しい時間でした。MerryChristmas★





渡辺病院 創立60周年

オペラ衣裳特別展示会

2022（令和4）年10月で渡辺病院は創立60周年を迎えました。

コロナ禍により式典を執り行うことができませんでしたが、日頃からお世話になっている皆さまへ感謝の気持ちを込めて何かできることはないかと考えた結果、渡邊多恵子施設長と衣装デザイナー下斗米雪子さまと長年のご縁により、名誉院長が好まれていた“オペラ”をテーマに「オペラ衣裳特別展示会」を開催することができました。また、同会場に病院の年譜や歴史も展示させていただきました。

短期間ではありましたが、美浜町役場や地域住民、利用者の方など、約200名の方にお越しいただきました。椿姫やアイダの衣裳（20点）を見た方は「身近に衣裳を見て感動した」「コロナ禍でも安心して楽しめた」といった感想や病院の歴史では「昔の病院や職員を見て、懐かしかった。みんな若かったね」など、親しみ深い声が印象的でした。今後とも変わらぬご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



功労会

創立60周年の歴史を振り返る機会として、当グループにて30年以上働いている職員を囲み、功労会を開催しました。これまでの思い出をスライドで上映したり、長年勤務された職員の貴重なエピソードを伺ったりするなど、とても感慨深い時間を共有することができました。

当グループは30年～50年間、現役で頑張っている永年勤続者が多いため、世代を繋ぐことの大切さを感じた時間でした。



～エピソード（挨拶）～

46年前（高校卒業後）、断腸の思いで乗り込んだプロペラ機。

故郷（鹿児島県種子島）を後にして、新しい土地への期待と不安は今も私の脳裏から離れません。ある時は励みで、ある時は決心、またある時は勇気に変わっていきます。これからもひたすら前身のみの人生です。共に“わたなべ”とです。



研修報告

虐待防止

12/4に静岡県裾野市の保育所において園児虐待のニュースが報道されました。当施設においても虐待防止委員会や朝礼、研修など周知啓発し、高齢者虐待防止の徹底を図りました。

全国の介護現場においても、認知症の理解やコミュニケーションの不足など、さまざまな理由により虐待の件数や常態化が目立っていると同時に、コロナ禍により施設内の面会ができなくなっていることも影響しているように感じます。改めて利用者やご家族との時間を大切にしながら、業務に努めてまいります。

